

2013 年度アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト実施報告

International Intercultural Mural Exchange [IIME]

ジャパンアートマイル (JAM)

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」(文部科学省・外務省後援事業)は、これまでに 52 の国・地域から 23,602 名の児童生徒が参加している国際協働学習のプログラムである。JAM では支援体制を毎年見直して学習の質の向上を目指してきたが、昨年度は特に電子フォーラムを活用して教え合い学び合う双方向の学習を充実させることに重点を置いて指導したところ、日本校・海外校共に学習成果の向上が見られた。2013 年度の取り組みを報告する。

1 国内・海外の参加校

2013 年度「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」には 28 の国・地域からのべ 142 校 3,837 名の児童生徒が参加した。

【参加国・地域】28 国・地域

アゼルバイジャン、アメリカ、アラブ首長国連邦、イギリス、イタリア、インド、インドネシア、ウガンダ、オーストラリア、ガーナ、カタール、カナダ、キルギス、ケニア、コスタリカ、サモア、シンガポール、ジンバブエ、タイ、台湾、ニカラグア、日本、パキスタン、フィリピン、

ホンジュラス、マレーシア、メキシコ、ロシア

【参加都道府県】23 都道府県

北海道、宮城県、秋田県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

【参加校・参加生徒】

参加校:延べ 142 校

参加生徒数:3,837 名(日本 2,168 名・海外 1,669 名)

【日本と海外の交流相手校一覧】

NO	国・地域	日 本 参 加 校	海 外 参 加 校
1	Australia	宮城県 仙台市立吉成小学校	Lismore Primary School
2		愛知県 東浦町立緒川小学校	Trawalla Primary School
3	Azerbaijan	福岡県 北九州市立泉台小学校	Ankara Lyceum
4	Canada	埼玉県 草加市立高砂小学校	Hyde Park Public School
5		福岡県 大牟田市立吉野小学校	Chris Hadfield Elementary School
6		宮城県 仙台市立吉成小学校	Morrisburg Public School
7		岐阜県 可児市立南帷子小学校	Dalhousie Middle School
8		香川県 観音寺市立観音寺南小学校	Fieldcrest Elementary School
9		東京都 都立田柄高等学校	Lincoln M. Alexander Secondary School
10	Costa Rica	石川県 七尾市立小丸山小学校	La Escuela Surik
11	Ghana	石川県 七尾市立小丸山小学校	Brillant Superstars Primary School
12		愛知県 安城市立安城南部小学校	Snergy Star International School
13	Honduras	神奈川県 星槎国際高等学校	Instituto Tecnico Alejandro Flores
14	India	愛知県 安城市立安城南部小学校	Bluebells School International

NO	国・地域	日 本 参 加 校	海 外 参 加 校
15	India	北海道 浦河町立荻伏小学校	Delhi Public School Bangalore South
16	Indonesia	神奈川県 横浜市立東市ヶ尾小学校	SDN Lebak Bulus 02 Pagi
17		兵庫県 明石市立魚住東中学校	SMA Negeri 1 Gianyar
18		北海道 海星学院高等学校	21 Senior High School Surabaya
19		秋田県 県立湯沢翔北高等学校	SMA Negeri 1 Kintamani
20	Italy	岐阜県 県立郡上北高等学校	Liceo Scientifico Statale G. Galilei
21	Kenya	愛知県 岡崎城西高等学校	Wamumu Rehabilitation School
22	Kyrgyzstan	岐阜県 可児市立南帷子小学校	Chui Oblast Grammar School
23		大阪府 寝屋川市立友呂岐中学校	A. Osmanof
24		東京都 多摩市立東愛宕中学校	Humanitarian Lyceum
25		石川県 金沢星稷大学	Bishkek Humanities University
26	Malaysia	岡山県 県立岡山一宮高等学校	Montfort Youth Centre
27	Mexico	東京都 目黒区立大岡山小学校	Comunidad Educativa Yaxunah
28		大阪府 堺市立深井中央中学校	Prepa Tec Campus Cumbres
29		滋賀県 大津市立志賀中学校	Prepa Tec Campus Cumbres
30		兵庫県 赤穂市 Sherry 英語教室	Secundariay Preparatoria Lomas Del Valle
31		北海道 札幌市立札幌大通高等学校	Prepa Tec Campus Santa Catarina
32		東京都 青山学院大学	Universidad Veracruzana
33	Nicaragua	東京都 杉並区立杉森中学校	La Biblioteca Munincipal Adolfo Vargas
34	Pakistan	石川県 輪島市立鶴巣小学校	Springfield Public School and College
35	Philippines	石川県 金沢市立浅野川小学校	House of Joy
36		石川県 金沢市立浅野川小学校	House of Joy
37		石川県 金沢星稷大学	Mindanao International College
38	Qatar	カタール ドーハ日本人学校	Abdul Rahman Bin Jassim Independent Preparatory School
39		沖縄県 沖縄尚学高等学校附属中学校	Abdul Rahman Bin Jassim Independent Preparatory School
40	Russia	東京都 足立区立梅島第一小学校	Educational Center 1471
41	Samoa	東京都 目黒区立大岡山小学校	Falefitu Primary School
42		東京都 目黒区立大岡山小学校	Fagalii Primary School
43	Singapore	福岡県 大牟田市立吉野小学校	Huamin Primary School
44		東京都 多摩市立南鶴牧小学校	Huamin Primary School
45	Taiwan	石川県 金沢市立西小学校	Wen Ya Elementary School
46		石川県 金沢市立西小学校	Wen Ya Elementary School
47		石川県 金沢市立四十万小学校	Rixin Elementary School
48		香川県 観音寺市立観音寺南小学校	Wen Hua Elementary School
49		愛知県 名古屋市立愛知小学校	Guei-ren Junior High School
50		石川県 津幡町立中条小学校	Guei-ren Junior High School
51		兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	Guei-ren Junior High School
52		兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	Guei-ren Junior High School

NO	国・地域	日 本 参 加 校	海 外 参 加 校
53	Taiwan	東京都 多摩市立落合中学校	Nan-jung Junior High School
54	Thailand	愛知県 安城市立安城南部小学校	Plearnpasa Language School
55	UAE	埼玉県 草加市立高砂小学校	Dubai International Academy
56		石川県 津幡町立中条小学校	Dubai International Academy
57	Uganda	石川県 金沢市立緑小学校	Greenhill Academy
58		石川県 金沢市立四十万小学校	Nakaseeta Foundation Christian Primary School
59		熊本県 宇城市立不知火中学校	Iganga Secondary School
60		愛知県 KTC中央高等学院名古屋キャンパス	St. Mathias Kalemba Senior Secondary School
61	UK	熊本県 宇城市立不知火中学校	Bryn Hafren Comprehensive School
62	USA	埼玉県 草加市立高砂小学校	St. Pius X School
63		埼玉県 草加市立高砂小学校	Saucon Valley Elementary School
64		神奈川県 横浜市立黒須田小学校	Van R. Butler Elementary School
65		石川県 金沢市立額小学校	Orange Grove Middle Magnet School
66		石川県 金沢市立額小学校	Orange Grove Middle Magnet School
67		石川県 金沢市立額小学校	Orange Grove Middle Magnet School
68		石川県 宝達志水町立樋川小学校	J. M. Hill Elementary School
69		京都府 木津川市立木津南中学校	John Adams Middle School
70		山形県 尾花沢市立常盤中学校	Scales Mound Community Unit District #211
71	Zimbabwe	埼玉県 草加市立高砂小学校	Helena Infant School

2 段階を追って進む国際協働学習

<1年間の学習活動の流れ>

4-5月	参加申込期間
6月	JAMより参加決定通知→海外校紹介
6-7月	アートマイル導入・テーマ調べ
夏休み	(準備期間) 海外校とスケジュール調整・コミュニケーションツールのチェック
<海外校との国際協働学習スタート>	
9月	自己紹介・学校紹介・地域紹介
10月	テーマについて海外校と協働学習
11月	構図と制作分担の決定・下絵作成
11月 12月	日本側の壁画制作→キャンバスの半分に絵を描いて相手に送付
1月 2月	海外側の壁画制作→壁画完成→作品鑑賞→日本校に壁画を送付 日本側はこれまでの活動のまとめ
3月	作品鑑賞と年間活動の振り返り

アートマイルは「自己紹介」から「鑑賞と振り返り」まで段階を追って進む。いつ何をするのか大枠が決まっているため、初めて取り組む教師でも見通しを持って国際協働学習を行うことができる。

〔6月～7月〕導入・テーマ調べ

アートマイルへの参加が決まると、教師は児童生徒にアートマイルについて情報を与え、世界の友だちと学び合い、一緒に壁画を制作することへの意識付けを行う。

6月～7月は、海外校と一緒に学習したいテーマについて自分たちのことを調べてまとめる時期である。1学期に学習テーマのまとめ・発表まで行った学校では、10月にテーマについて海外校と協働学習を行う際に自分たちの情報をしっかり相手に伝えることができた。また、英語の自己紹介カードや学校紹介ビデオを作成した学校は、9月に良いスタートが切れ、海外校をうまくリードすることができた。

〔夏休み〕準備期間

夏休みは9月から始まる国際協働学習の準備期間である。教師は、海外校と翌年3月までの学習スケジュールの調整を行い、双方向のコミュニケーションのツールであるフォーラム(電子掲示板)を使う練習をして本番に備えた。これまでに参加経験のある学校では、自己紹介カードの作成、海外校の国・地域調べ、協働学習のテーマ調べ等を夏休みの宿題として出している学校が多く見られた。

〔9月〕「自己紹介」

海外校の国際協働学習は JAM が提供するフォーラムを使って「自己紹介」から始まる。フォーラムは非公開で、ID とパスワードで守られているため、安心して生徒の写真を載せることができる。相手の顔が見えることで児童生徒は世界に友だちができた実感が持て、学習のモチベーションが高まった。

自己紹介では、ほとんどの学校が児童生徒の紹介だけでなく、学校紹介や地域紹介も行っていた。海外校との時差が少ないところは、スカイプでテレビ会議を行う学校が多かった。テレビ会議を行うと相手意識が強まり、「もっと自分たちのことを伝えたい」「もっと相手のことを知りたい」とお互いに学習意欲が高まる。時差が大きくてテレビ会議を行うことができないところでは、日本でも海外でもビデオレターを作成してネット上にアップしたり、DVD にして送る学校が多くなった。



〔10月〕「テーマの協働学習」

文化・環境・平和・食・夢など海外校と共通の学習テーマについて調べてまとめたことをフォーラムにアップして共有した。海外校とよくやり取りをしている多くの学校では、お互いの理解が深まり、双方向の学び合いも深まり、絆を強めることができた。一方、1学期～夏休みの準備が不十分だった学校の

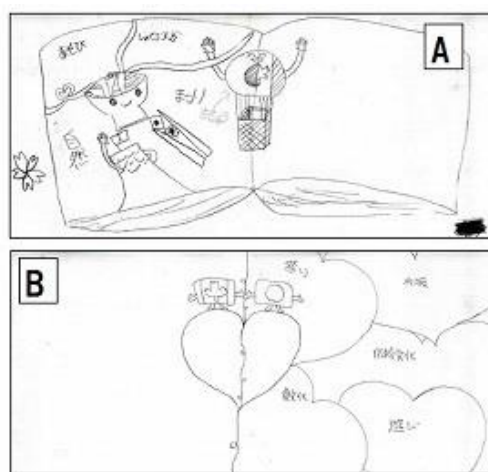
中には、9月の自己紹介が遅れ、学校行事が多い2学期にテーマの協働学習の時間を十分に確保できず、海外校との学び合いを深めることができないところがあった。

フォーラムの使い方については、英語の言葉で情報や思いを十分に伝えるのは難しいため、学習活動の様子をできるだけ写真に撮って画像をアップするようにアドバイスしている。画像は言葉の何倍もリアルに情報を伝えることができるだけでなく、壁画制作の際には絵の素材としても役に立った。



〔11月〕「構図決め」

11月には学習したことをどのような絵にするのかをフォーラムで相談した。構図や制作分担については日本側がいくつかの案を示して海外校に選んでもらって決定するパターンが多く見られた。



〔11月～12月〕「壁画制作」

日本の学校は11月～12月にキャンパスの半分に絵を描いて海外校に送った。

絵を描くときには児童生徒のモチベーションが上がり、相手意識が強くなる。「自分たちの絵をどう思えるかな」「この絵の続きにどんな絵を描いてくれるか

な」と常に相手のことを思いながら描く。どの学校も絵を描いている様子を写真に撮り、フォーラムにアップして海外校と共有した。



年末年始の休みが多い時期に海外校に確実に荷物が届くように送るためには注意しなければならないことがいくつかある。参加校には送る時期や輸送方法についてメーリングリストやメールで何度も注意を促した。

〔1月～2月〕海外側：壁画制作／日本側：まとめ

海外側は1月～2月に後の半分の絵を描いて壁画を完成させる。海外校も制作の様子を写真に撮ってフォーラムにアップし、日本校と共有した。



この間に日本側ではこれまでの学習活動のまとめを行った。まとめたことを学年で発表したり、まとめたものを校内で展示して披露したりする学校もあった。



〔3月〕「鑑賞と振り返り」

完成した壁画が日本に届くと鑑賞を行った。作品から相手が絵に込めた気持ちを読み取り、お互いに感想を伝え合った。その後は、全校生徒が見ることができる場所に展示したり、卒業式の式場で展示して父兄にも披露したりして、世界の友だちと協働して学び、共同して壁画を完成させた達成感と喜びを分かち合った。



最後に活動全体の振り返りを行った。最後にどうしても相手と顔を合わせて締めくくりをしたいとテレビ会議を行ったところが数校あった。

3 成果

(1)国際協働学習の目に見える成果

アートマイルでは国際協働学習の成果を「壁画」という目に見える形で表す。2013 年度に制作された71枚の壁画の一部を紹介する。

<サモア> 小学校



<ジンバブエ> 小学校



＜アメリカ＞ 中学校



＜カナダ＞ 高校



＜メキシコ＞ 大学



(2) JAM の支援体制強化の成果

JAM では初めて参加する教師でも円滑にアートマイルの国際協働学習に取り組めるように様々な支援を学校に提供している。2013 年度に特に力を注いだことは、進捗状況に合わせた事前の情報提供と 142 校のフォーラムの活用状況のウォッチングと進捗レポートによる進捗管理だった。

①事前の情報提供

アートマイルは「自己紹介」から「鑑賞と振り返り」まで段階を追って進む。各段階で、事前に次の段階の学習のポイントやアドバイス、注意点などをメーリングリストで伝えた。これにより、教師は見通しと予測を持って学習することができた。また、事前の情報によりトラブルを回避することもできた。

②フォーラムのウォッチング

参加校には国際協働学習を「見える化」することができるフォーラムの活用を促す一方、JAMは週に一度 142 校のフォーラムの活用状況をチェックして各校の進捗状況を把握し、コミュニケーション不足などから学習活動が滞っている学校を励ま

しフォローした。フォーラムの活用状況の把握による進捗管理により、7 割以上の学校がスケジュール通りにプロジェクトを進めることができただけでなく、国際協働学習の充実につながった。

③進捗レポートによる進捗管理

JAM は参加校に学習の段階毎にオンラインで簡単に送信できる進捗レポートの提出を求めている。進捗レポートの提出状況と質問コーナーに書かれている内容から常時教師が困っていることがないかを把握し、問題があれば迅速に対応することができた。

他にも JAM は様々な学校支援を行ってきた。

＜JAM の支援に対する教師の感想＞

- ・メーリングリストで活動に合わせて注意事項を知らせていただけてとても助かった。
- ・フォーラムで相手と情報を共有できたお陰で互いのことを知り、理解することができた。
- ・フォーラムで他の学校の取り組みも見ることができたことが励みや刺激になった。
- ・英語が苦手な自分にとってはフォーラムに掲載されている英語文例集がとても参考になった。
- ・進捗レポートで質問するとすぐに返事がいただけて大変助かった。
- ・相手の先生が途中で代わったが、事務局が迅速に対応してくださったので大変助かった。
- ・なかなか返事をくれない相手校の先生を何度もプッシュしていただけて助かった。

(3) JICA の協力による成果

2013 年度も前年度に引き続き JICA 本部から世界中の JICA 事務所へアートマイルへの参加を推奨する公電が出されたことにより、9 つの途上国から 15 の学校・教育施設の参加があった。

＜JICA の支援を受けた国・地域＞

インド・ウガンダ・キルギス・ケニア・コスタリカ・
サモア・ニカラグア・ホンジュラス・マレーシア

これらの国・地域の学校とアートマイルに取り組んだ日本の学校では、普段出会う機会がない子どもたちと繋がってそれまで全く知らなかった国・地域の文化に触れ、一緒に学習し、壁画を完成させることができ、教師にとっても児童生徒にとっても貴重な体験となった。



(JICA キルギスの支援を受けたアートマイル)

(4) アンケートの感想から見える成果

プロジェクト終了時のアンケートに記された教師の感想を紹介する。

- ・世界の平和を目指すには、人間同士がお互いを理解し合うことが大切であり、コミュニケーションを図ることこそが最も緊要であると考える。アートマイルプロジェクトには、まさにそうした志向性が内在しており、その目標には深く共鳴できる。素晴らしい活動に参加させていただけたことを嬉しく誇りに思う。
- ・相手意識をもってコミュニケーションを行ったり、「相手校の子のために」という思いを持つことで、子どもたちは主体的に活動に取り組んだりできるようになった。
- ・児童からは「言語は違ってもコミュニケーションをとることができる。」「知らない国・地域のことをたくさん知ることができた。もっと知りたい。」等の感想があった。児童は、外国・地域の友達と交流する喜び、楽しさを感じたようだ。児童・教師共にプロジェクトを通して得たものは大きかった。
- ・総合的な学習の時間で扱うには「活動あって学びなし」にならないように十分な検討が必要な教材だと実感した。もっと研究してまたやりたいと思った。
- ・相手国・地域を知ること、自分の国の豊かさや文化を知ることができ、刺激的だった。相手があることなので、どうしても自分の思い通りにいかないこ

ともあったが、それを含めて勉強させていただいた。

- ・アートマイルは「相手とつながるためには」「よりよい交流をするには」ということを考えながら取り組ませることで常に課題解決学習となるプロジェクトだ。
- ・生徒たちはプロジェクト終了後も個人的にメールでやりとりを続けようと約束した。世界に大切な友だちができたようだ。

4 課題と対策

(1) ネット環境の問題

学校のネット環境には海外だけでなく日本でも様々な課題がある。

海外では、ネット環境が整っていない途上国の学校ではネットにアクセスできる青年海外協力隊やアートマイルコーディネーターがその学校の担当教諭に代わって日本の学校とやり取りを行っている。しかし、今年度、地域によっては彼らもネットに接続できない時期があったことから、今後はネット環境が厳しい学校ではサポーターが確実にネットで連絡が取れるかどうかの確認を事前に行うこと、もしくは複数のサポーターの確保も検討して対応する。

日本では、セキュリティが厳しく、スカイプが制限されている学校が多いが、ネットを管理している教育委員会などと相談してテレビ会議を行う期間にセキュリティを解除する措置をとってもらうことで解決してきた。新たな解決法として、教師のスマホによるスカイプ会議の可能性が見えてきた。今後はその方法についても検討したい。

(2) 教師間のコミュニケーション不足

毎年少数ではあるが相手とほとんどコミュニケーションを取らない教師が日本にも海外にもいる。アートマイルは国際協働学習であり、相互に学び合い教え合うプロジェクトであること、それを実現するためには教師間のコミュニケーションが不可欠であることを折に触れて伝え、時には電話で直接話をしたりしてきた。今後も、教師間のコミュニケーションが国際協働学習を充実させるポイントであることを丁寧に伝えていきたい。